

第1問 古代から近代にいたる日本の宗教と政治との関係について述べた次の文を読み、下の空欄

1 ~ 10 にあてはまる適語を記せ。

古墳時代に仏教は伝来した。『上宮聖徳法王帝説』によれば、538年に百済の 1 が欽明天皇に仏像や経論などを伝えたという。その後、崇仏・排仏論争が起こり、崇仏派の蘇我氏が政治的立場を有利にした。最初の仏教文化である飛鳥文化では、豪族の権威の象徴として寺院が建立され、北魏の影響を受けた仏像も多くつくられた。

天平文化期には、仏教は鎮護国家思想のもとで発展した。741年には 2 が、政治的・社会的不安を背景に国分寺建立の詔を出した。奈良の大寺院では南都六宗と呼ばれる学派が形成され、仏教理論の研究が進められた。平安時代には天台・真言両宗が密教を広め、加持祈禱による現世利益を唱えて貴族の支持を得た。さらに、末法思想を背景に来世での幸福を祈る浄土教が盛んになり、造寺造仏が可能な皇族・貴族層の間で特に流行した。末法初年の翌年には 3 が宇治に壮麗な阿弥陀堂を建立した。

鎌倉時代には、内面的な信仰を重視した新しい仏教が興った。救われるために困難な修行を必要としなかったこともあり、民衆など幅広い階層の人々に受け入れられた。浄土教系では、法然・親鸞・一遍らが出て、念仏による極楽浄土への往生を説いた。法然は、『玉葉』の著者であり摂政や関白をつとめた 4 にも帰依された。日蓮は法華経を釈迦の正しい教えとして選び、題目を唱えることを重視した。禅宗では、栄西と道元が出て、坐禅によって鍛練を重ねる修行を勧めて、武士社会に大きな勢力をもった。栄西は建仁寺、道元は越前の 5 を布教の拠点とした。一方で顕密仏教は、新仏教の活動に刺激され、戒律を重視した改革運動を起こした。たとえば律宗の叡尊や忍性は、戒律の重視とともに社会事業にも尽力した。特に、忍性はハンセン病患者のために奈良に 6 を設立したことで知られている。

室町時代になると、幕府が臨済宗の寺院を五山・十刹の制により保護・統制し禅宗はさらに発展した。その後幕府の権力が衰えてくると、より自由な民間布教に努めた 7 の禅が台頭した。僧としては大徳寺の休宗純が有名である。浄土真宗は、蓮如の精力的な布教活動によって、北陸・東海・近畿地方にも広まり、各地で一向一揆が起こった。日蓮宗では日親が出て、他宗と激しい宗論をたたかわせながら、京都を中心に西日本に勢力を伸ばした。京都の商工業者である町衆にはその信者が多く、 8 を結んで、一向一揆と対峙した。

江戸時代になると、幕府はキリスト教の禁教政策として、 9 を導入した。これは、すべての人がいずれかの寺院の檀家になることを強制された制度であったので、僧侶は布教活動をすることなく信者を獲得でき、その結果、仏教は停滞した。

明治政府は王政復古による祭政一致の立場から、天皇と神道を結びつけることで民衆支配を実現しようとして、1868年に神道を重視して 10 を発した。そのため、廃仏毀釈運動が展開され、寺院が破却されるなどして仏教は一時大きな打撃を受けたが、仏教の神道からの完全な分離を進めた島地黙雷らの努力で、まもなく立ち直った。

歴史総合・日本史  $\frac{2}{11}$

第2問 13世紀から16世紀の次の年表をみて、下の問い(問1～10)に答えよ。

年代	主な出来事
1213	和田合戦の後、 <u>㉑北条義時</u> 、侍所別当を兼ねる
1221	承久の乱により後鳥羽上皇が <input type="text" value="X"/> に配流される
1247	宝治合戦により北条時頼が <input type="text" value="1"/> を滅ぼす
1333	<u>㉒鎌倉幕府滅亡</u> 。翌年、建武の新政はじまる
1392	足利義満、南北朝の合体を実現する
1429	<u>㉓琉球王国の建国</u>
1439	<u>㉔上杉憲実</u> 、足利学校を再興
1467	応仁・文明の乱がはじまる
1480	一条兼良が足利義尚のために『 <input type="text" value="2"/> 』を著す
1495	北条早雲が堀越公方を滅ぼした後、 <input type="text" value="Y"/> に本拠を置く
	<u>㉕宗祇</u> 、連歌集『新撰菟玖波集』を編む
1523	<u>㉖寧波の乱</u> が起こる
1543	鉄砲が伝来する
1573	<u>㉗室町幕府の滅亡</u>
1582	本能寺の変が起こる
1592	<u>㉘文禄の役(壬辰倭乱)</u> が起こる

歴史総合・日本史  $\frac{3}{11}$

問1 空欄   に入る語句の組合せとして正しいものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) 1 三浦泰村 2 神皇正統記  
 (イ) 1 三浦泰村 2 樵談治要  
 (ウ) 1 安達泰盛 2 神皇正統記  
 (エ) 1 安達泰盛 2 樵談治要

問2 空欄   に入る地名の位置は、次の地図上 I～IVのどこに該当するか、正しいものの組合せを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。



- (ア) X I Y III (イ) X I Y IV  
 (ウ) X II Y III (エ) X II Y IV

問3 下線部㉓について、北条義時がすでに長官(別当)であった鎌倉幕府の主要機関は何か。機関名を答えよ。

問4 下線部㉔について、鎌倉幕府滅亡や建武の新政について述べた次のa～dについて、正しいものの組合せを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- a 後醍醐天皇の一度目の討幕計画は、事前にもれて失敗した(正中の変)。  
 b 有力御家人新田義貞が、幕府に背いて六波羅探題を攻め滅ぼした。  
 c 後醍醐天皇が、持明院統の光厳天皇を廃して建武の新政を開始した。  
 d 建武の新政では、鎌倉幕府の引付を継承した記録所が設置された。

- (ア) a・c (イ) a・d (ウ) b・c (エ) b・d

歴史総合・日本史 4/11

問5 下線部㉔について、この時の三山を統一した中山王は誰か、人物名を答えよ。

問6 下線部㉕について、この人物と対立した鎌倉公方が討ち滅ぼされた事件を何というか、答えよ。

問7 下線部㉖について、この人物が確立した連歌を何というか、答えよ。

問8 下線部㉗について、次の〈甲〉〈乙〉について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

甲 日明貿易の勘合は、室町幕府が有力守護に貿易許可書として発行した。

乙 寧波の乱により、博多商人と結んだ大内氏が貿易を独占した。

(ア) 甲—正 乙—正 (イ) 甲—正 乙—誤

(ウ) 甲—誤 乙—正 (エ) 甲—誤 乙—誤

問9 下線部㉘について、この前後の出来事Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の(ア)～(カ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

Ⅰ バテレン追放令により、宣教師の国外退去が命じられた。

Ⅱ 長篠の戦いで足軽の鉄砲隊の威力が発揮され、武田勝頼方が敗れた。

Ⅲ 上洛をめざして進軍していた今川義元が、桶狭間の戦いで敗れた。

(ア) Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ (イ) Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ (ウ) Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ

(エ) Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ (オ) Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ (カ) Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

問10 下線部㉙について、この戦争で活躍した朝鮮水軍の将は誰か、人物名を答えよ。

歴史総合・日本史  $\frac{5}{11}$

第3問 古代から近現代の政治・外交・経済・文化に関する下の問い(問1～10)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

問1 奈良時代の貨幣と交通について述べた文として誤っているものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) 和同開珎は、平城京造営のための人夫への代金などに利用された。
- (イ) 本朝十二銭の最後は、村上天皇の治世で鑄造された乾元大宝である。
- (ウ) 調・庸は駅家の輸送制度を利用して、国司が都まで運んだ。
- (エ) 山陽道は、外交の重要機関であった大宰府と都を結ぶ官道として重視された。

問2 平安時代における平氏と源氏の軍事行動について述べた文として正しいものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) 平将門は、東国で反乱を起こし新皇と称したが、源経基らにより平定された。
- (イ) 平忠常は、上総で反乱を起こしたが、源頼信により平定された。
- (ウ) 前九年合戦では、陸奥の豪族安倍氏と国司との対立を源満仲が平定した。
- (エ) 後三年合戦では、出羽の豪族清原氏の内紛に源頼義が介入して平定した。

問3 守護について述べたⅠ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の(ア)～(カ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- Ⅰ 軍費調達のために、守護は荘園や公領の年貢の半分を徴発する権限を得た。
  - Ⅱ 天皇によって国司制度が再整備されたが、諸国には国司と守護が並立する状況が続いた。
  - Ⅲ 守護の任務は「大番催促・謀叛・殺害人等の事なり。」と明文化された。
- (ア) Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ    (イ) Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ    (ウ) Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ  
(エ) Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ    (オ) Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ    (カ) Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

歴史総合・日本史 6/11

問4 次の分国法・家訓の史料X・Yについて述べたa～dについて、正しいものの組合せを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

X 朝倉か館たちのほか之外(にか)、国内(にか) □ 城郭を構かまえさせましく候。惣別分限ぶげんあらん者、一乗谷いちじょうだにへ引越ひっこし、郷村には代官ばか計り置かるべき事。

Y 駿すん・遠えん両国の輩ともがら、或あるいはわたくしとして他国より嫁を取とり、或むこハ婿むこに取、娘をつかひす事、自今以後これを停止ちようじし畢おわんぬ。

- a 一乗谷は、越前朝倉氏の城下町である。
- b 朝倉氏は、家臣に郷村に居住するよう命じている。
- c Yは今川仮名目録の一部である。
- d 伊達氏は政略結婚を禁止している。

(ア) a・c (イ) a・d (ウ) b・c (エ) b・d

問5 江戸時代における琉球・アイヌとの関係について述べた次の〈甲〉〈乙〉について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

甲 琉球王国は清の冊封を受け朝貢貿易を行う一方で、將軍の代替わりには慶賀使を派遣していた。

乙 アイヌ人は場所請負制度により和人商人に搾取されたので、大首長コシャマインが蜂起した。

- (ア) 甲—正 乙—正 (イ) 甲—正 乙—誤
- (ウ) 甲—誤 乙—正 (エ) 甲—誤 乙—誤

問6 次の史料は、江戸時代後期に幕府が出した法令である。この法令の趣旨をくみとったうえで、下線部の「異学」に該当する学問分野の研究者として最も正しい人物と思われるものを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

朱学の儀は、慶長以来御代々御信用の御事にて、巳すでニ其方家代々右学風維持の事仰せ付け置かれ候儀ニ候得共、油断無く正学はげみ励、門人共取立申すべき筈はずニ候。然しかるところちかごろ 処 近来世上種々新規の説をなし、異学流行、風俗を破り候類之有り、全く正学衰微の故ニ候哉、甚や だ相済まざる事ニて候。

- (ア) 林羅山
- (イ) 熊沢蕃山
- (ウ) 本居宣長
- (エ) 杉田玄白

## 歴史総合・日本史 $\frac{7}{11}$

問7 18世紀後半、ロシアのエカチェリーナ2世の命により、大黒屋光太夫らの日本人漂流民を送るとともに、日本に通商を求めて根室に来航したロシア使節は誰か、人物名を答えよ。

問8 江華島事件の翌年に結ばれた日朝修好条規の条文として正しいものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

(ア) 清国ハ朝鮮国ノ完全無欠ナル独立自主ノ国タルコトヲ確認ス。

(イ) 日本帝国政府ハ、本条約締結後二ケ年ノ中ニ於テ、全ク国内ヲ開放シ、永久外人ヲシテ雜居セシムヘシ。

(ウ) 朝鮮国ハ自主ノ邦ニシテ、日本国ト平等ノ権ヲ保有セリ。

(エ) 両締約国ハ相互ニ清国及韓国ノ独立ヲ承認シタルヲ以テ、該二国孰レニ於テモ全然侵略的趨向ニ制セララルルコトナキヲ声明ス、…

問9 明治時代、『国民之友』を刊行し、平民的欧化主義を唱えたのは誰か、人物名を答えよ。

問10 第二次世界大戦後の内閣が実施した外交や国内政治について述べたⅠ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の(ア)～(カ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

Ⅰ アメリカとの間でMSA協定を結んで、アメリカの援助を受ける一方で自衛隊を発足させた。

Ⅱ 日韓基本条約を締結し、韓国政府を「朝鮮にある唯一の合法的な政府」と認め、国交を樹立した。

Ⅲ 日米韓関係の緊密化をはかる一方、行財政改革を推進し、国鉄など三公社の民営化を断行した。

(ア) Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ (イ) Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ (ウ) Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ

(エ) Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ (オ) Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ (カ) Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

第4問 日露戦争以後の外交関係や日本の政治・経済について述べた次の文を読み、下の問い(問1～10)に答えよ。

日本は日英同盟協約を締結して日露戦争を戦い、アメリカ大統領 1 の仲介によりアメリカのポーツマスで講和条約を結んだ。ポーツマス条約では、日本は旅順・大連の租借権や長春・旅順間の鉄道とその付属の利権を得た。そこで、1906年に租借地に関東都督府を設置し、半官半民の南満洲鉄道株式会社を設立した。㉑このような日本による南満洲の権益独占の動きに対して、アメリカは門戸開放を唱えて反対したため、日米関係は急速に悪化した。

1914年、第2次大隈重信内閣が日英同盟を名目に第一次世界大戦に参戦した。そして、日本は中国におけるドイツの根拠地や赤道以北のドイツ領南洋諸島の一部を占領した。さらに、㉒中国政府に対して二十一カ条の要求をつきつけた。㉓アメリカも参戦したが、太平洋方面の安定を確保する必要があったため、中国の領土保全と日本が中国に特殊権益をもつことを認める協定を結んだ。

大戦中にロシア革命が起こり、レーニンの指導するソヴィエト政権がドイツ・オーストリアと単独講和条約を結ぶと、㉔連合国は革命への干渉を開始し、寺内正毅内閣も同調した。

大戦後に開かれたパリ講和会議で、日本の中国での権益拡大が認められたため、中国で大規模な反日運動が展開された。また、㉕朝鮮では独立運動が起こり、日本はこれを厳しく弾圧した。日本は列国との協調外交により、日本の権益を維持することをめざした。

大戦後、アメリカは軍縮と太平洋および東アジア問題を審議するために、列国をワシントンに招集した。㉖ワシントン会議で締結された条約により、軍縮と列国の協調を基礎としたワシントン体制と呼ばれる国際秩序が生まれた。その後の日本も国際協調の外交路線を展開した。しかし、この外交姿勢に対し、国内には日本の対外膨張を抑圧するものとの批判もあった。

中国では、1924年に第一次国共合作が実現し、1926年に国民革命軍が全国統一をめざして北伐を開始した。関東軍は満洲を占領しようと画策したが失敗し、内閣は総辞職、かわって浜口雄幸が組閣した。㉗浜口内閣は協調外交のもと、1930年にロンドン海軍軍備制限条約に調印した。しかし、政府の条約調印をめぐり 2 問題が起こり、一方では昭和恐慌による経済的困窮が進んだ。

その後、関東軍が満洲事変を起こし、傀儡政権である「満洲国」を建国させた。さらに㉘広田弘毅内閣は、北進論と南進論を併記した「国策の基準」を決定し、近衛文麿内閣の時に㉙日中戦争が勃発した。

問1 空欄 

1
---

2
---

 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) 1 セオドア＝ローズヴェルト      2 二個師団増設
- (イ) 1 セオドア＝ローズヴェルト      2 統帥権干犯
- (ウ) 1 フランクリン＝ローズヴェルト      2 二個師団増設
- (エ) 1 フランクリン＝ローズヴェルト      2 統帥権干犯

問2 下線部㉓について述べた次の〈甲〉〈乙〉について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- 甲 カリフォルニア州を中心にアメリカ国内で日本人移民排斥運動が激化した。  
乙 日本はロシアとの日露協約締結を背景に、満洲権益を国際社会に認めさせた。
- (ア) 甲—正 乙—正      (イ) 甲—正 乙—誤
  - (ウ) 甲—誤 乙—正      (エ) 甲—誤 乙—誤

問3 下線部㉔について、北京にあった政府の大総統として正しい人物を、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) 孫文
- (イ) 李鴻章
- (ウ) 康有為
- (エ) 袁世凱

問4 下線部㉕について、日米間で結ばれた協定は何か、答えよ。

問5 下線部㉖について、連合国のロシア革命への干渉戦争と寺内正毅内閣について述べた文として誤っているものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) チェコスロヴァキア兵の救出を名目に対ソ干渉戦争が行われた。
- (イ) 列国が干渉戦争を止め撤兵したあとも日本軍は駐兵を続けた。
- (ウ) 寺内内閣は、第一次世界大戦終了後、金輸出を解禁した。
- (エ) シベリア出兵を当て込んだ米の買い占めにより米騒動が起こった。

歴史総合・日本史  $\frac{10}{11}$

問6 下線部㉔について述べた次のa～dについて、正しいものの組合せを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- a この運動は、三・一独立運動と呼ばれた。
  - b この運動は、五・四運動と呼ばれた。
  - c この運動後、朝鮮での統治方針を強圧的な武断政治から緩和した。
  - d この運動後、朝鮮での統治方針をより強圧的な武断政治に転換した。
- (ア) a・c    (イ) a・d    (ウ) b・c    (エ) b・d

問7 下線部㉕について述べた文として正しいものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) ハーディングの提唱で開催され、海軍大臣齋藤実が全権として参加した。
- (イ) 中国の主権尊重、門戸開放、機会均等を内容とする四カ国条約が締結された。
- (ウ) 太平洋地域の領土保全を目的に九カ国条約が締結され、日英同盟が廃棄された。
- (エ) 戦艦など主力艦の保有比率を英・米各5、日本3として制限した。

問8 下線部㉖について、この内閣の外務大臣は誰か、人物名を答えよ。

問9 下線部㉗について、第2次山県有朋内閣で制定された制度が広田内閣で復活するが、その制度は何か、答えよ。

問10 下線部㉘について、これ以後の日本の対外的な行動に関係した出来事Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の(ア)～(カ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- Ⅰ 南部仏印進駐を実行したため、アメリカは対日石油輸出の禁止を決定した。
  - Ⅱ ノモンハン事件の最中に独ソ不可侵条約が締結されたため、内閣は総辞職した。
  - Ⅲ 国民政府要人の汪兆銘を重慶から脱出させ、南京に新国民政府を樹立させた。
- (ア) Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ    (イ) Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ    (ウ) Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ  
(エ) Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ    (オ) Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ    (カ) Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

## 歴史総合・日本史 $\frac{11}{11}$

第5問 次のテーマについて、それぞれ200字以内で論述せよ。

問1 大蔵大臣に高橋是清を起用して金融恐慌を鎮静化した内閣が行った外交政策と国内における治安維持政策を、200字以内で論述せよ。

問2 東西冷戦のなかで朝鮮戦争が起こったが、その日本国内への影響について、次の語句を必ず用いて、200字以内で論述せよ（使用した語句には下線を施すこと）。

GHQ      公職      総評